

アゾラ・クリスタータ

分類: シダ植物、アカウキクサ科、アカウキクサ属、オオアカウキクサ節

学名: *Azolla cristata*

英名: Atlantic azolla

和名: アゾラ・クリスタータ

別名・流通名: アカウキクサ属の学名であるアゾラと呼ばれるものには、本種以外も含まれる。

原産地と分布: 南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカに分布する。

未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: アカウキクサ属全種(6種)

形態的特徴:

全体: 円形状またはやや五角形で長さ5-30mm。ヒノキの葉のように見える。

茎: 二又の分枝を繰り返しながら、水面で水平に伸びる。維管束が1本ある。

葉: 楕円形で無柄、長さ約0.5-2mm。水面で覆瓦状に2列に互生し、上下の2裂片に分かれる。上側の裂片は水面に浮かび、縁は半透明の膜質である。表面に疣状突起があり、この疣状突起が2~3個の細胞からなることが近縁種との区別点の一つである。秋には赤色になる。下側の裂片は薄く水中に沈む。

根: 細くて分枝せず水中に沈む。茶褐色で長さ3-5cm。根毛は生長すると発生するが早くに脱落する。

孢子嚢群: 分枝の最初の下側の葉の間につくことが多い。異形孢子性で小孢子嚢と大孢子嚢とが作られる。



特記事項: 浮遊性の水生シダで、湖沼、水田、溝、水路など日当たりの良い浅水中を好む。夏期、茎の分枝(芽)による栄養繁殖が旺盛である。アカウキクサ属の在来種であるオオアカウキクサ *A. japonica* は絶滅危惧種で、一部の専門家以外は本種と区別ができないので注意が必要である。現在アイガモ農法で利用されているのは別種であるが、疑問の場合は入手元に確認するのが良い。